



本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム ブリオネス

布施について

施した後で悔いたり、施して誇りがましく思うのは最上の施しではない。施して喜び、施した自分と、施しを受けた人と、施した物と、この三つをともに忘れるのが最上の施しである。

正しい施しは、その報いを願わず、清らかな慈悲の心をもって、他人も自分も、ともにさとりに入るよう願うものでなければならぬ。

私が小さかった頃、日曜日は決まって朝早く母に起こされました。そして6時半からのカトリック教会のミサに連れて行かれました。他の子供と同じように早起きは嫌いでした。しかもそれが立ったり座ったり跪いたりを長時間繰り返すためとなおさらです。さらに神父の説教は苦痛以外のなにものでもありませんでした。説教の内容は何一つ覚えていません。唯一記憶にあるのは、信者に寄付をお願いしたり、お金の話をしていたことだけです。

だからでしょうか。私は法話の時間に会費や寄付、お布施などお金にまつわる話をするのにいつも抵抗を感じます。けれども、特に輪番となつてからは、お寺の維持のためにどれほどのお金が必要かを身にしみて感じています。別院は決して小さなお寺ではありません。したがって毎月の電気ガス水道代は五、八千ドルほど、ゴミ収集には二、四千ドルほどを支払って

います。その他にも米国仏教団への会費(月一万ドル)や防火やセキュリティ(二千ドル)、スタッフの給料など必要経費だけでも相当なものです。さらに別院の維持にはお金だけでなく、労力も必要です。メンバーの皆さんが多く、時間を費やしご奉仕してくださっていることは十分に承知しています。だからこそ、これ以上お金の話は聞きたくないという気持ちには痛いほどわかります。

輪番という立場になって改めて気づかされたことがあります。それはこの別院は、僧侶やお寺からメンバーにこうしてくれ、ああしてくれと要求して保たれてきたのではなく、メンバーの自発的なはたらきとご懇志によって維持されてきたという事実です。特にコロナ禍の三年間、ファンドレージングができずまたご寄付をお願いすることも心苦しい状況にあつても、別院はメンバーの方々がそしてコミュニティから変わらぬ支援を賜ってききました。まさに僧伽の「氣もち」をいただいてきたといえましょう。これはまさしく仏教で言うところの「ダーナ(布施)」の姿であります。いただいた教えのありがたさに気づいた人々の報謝の表現といえるでしょう。

冒頭に紹介したものは、お釈迦様の言葉として『法句経』に収められている一節です。布施に関して説かれているこの言葉は、私たちに最上の贈り物を見返りを求めない心からのものであるということをお知らせさせていただきます。

サンスクリット語の「ダーナ」は「布施」と訳され、あらゆる衆生への愛と慈悲の表現とされています。「布施」は悟りの世界に到達するための菩薩の修行のひとつです。私たちにとっては私たちが進むべき方向を示してくれるガイドのようなものとも言えるかもしれませぬ。(三二面へ)

L.A. Homba Hongwanji Buddhist Temple 815 E. First Street Los Angeles, CA 90012 Tel: (213)680-9130 Fax: (213)680-2210 E-mail: info@NishiHongwanji-la.org Website: www.NishiHongwanji-la.org

ページ案内 総合 この話ご存じ 法話・コラム 弔意感謝録等

羅府別院理事長より



理事長 田端 パメラ

本年度も、西別院のお盆祭りにご協力いただきまして感謝申し上げます。お盆を通して、たくさんの方にお会いすることができました。大変嬉しく思います。数年前ぶりのお祭りでしたので、至らぬ点多々あったかと思いますが、来年は今年得た教訓を活かしてより良いお盆祭りとする所存です。

さて、以前にも触れましたが、一年の中でも春と秋のお彼岸は大好きな季節です。その理由は、お彼岸の季節の天気がいいことや、法要後にいただくお団子が美味しいのもありますが、息子の誕生日が9月22日で、彼の誕生日が9月21日であることも関係しているのかもしれない。孫娘が生まれてから、秋のお彼岸を欠席することが多くなりました。ここだけの話、パンデミック中は、家族と一緒にZoomを通して法要に参拝していました。

お彼岸について、デービッド松本先生のご法話を思い出します。先生は、ある

2022年 お盆祭り 7月8日-9日 日. Includes photos of festival activities and a banner for the event.

席で参拝に来ていた子どもたちを中央を挟んで両側に配置しました。片側を水に見立て、もう片側を火に見立てます。法話でしたが対話をしながら進むので、子どもたちは楽しく参加していました。今思えばとてもユニークなお説教だったと思います。他にも毎年多くの御講師の先生方が工夫を凝らして、仏法を伝えてくださりました。そのお陰で、いつも様々な視点から仏法を楽しみ、味合わせてもらっています。先の盂蘭盆会でコダニ先生をお迎えした後、先生にお礼を申し上げに行った時、私の眼に映る先生は、私の幼少期から今のお姿を通して拝見していると、先生は年を取るほどに「賢く」なっているように映ると伝えました。雲野テツ先生のクラスもありがたいご縁でした。クラスで先生から仏法を聞かせて頂いていたおかげで、年齢を重ねることにより深く先生のお話を聴聞できます。おや、ジョージ松林先生についても触れておかなければなりません。松林先生のご法話はいつも私の心にしみ入ります。なぜなら、先生はいつも私たちでも理解ができるように、優しく、明確におみおりのりを伝えてくださっているからです。

改めて、先生方のお話は本当にありがたく、聞けば聞くほどにより深く仏法が私の中で響くのを感じます。どうぞ、お念仏の響く秋のお彼岸に、仏縁にあわれんでください。合掌

【九月・十月のご案内】

- 祥月永代経法要 九月十日 (日) 午後一時
秋季彼岸セミナー・秋季彼岸法要 九月十六日 (土) (日本語) 午前十時 (英語) 午後一時
九月十七日 (日) 午前十時
御講師 アダムス、ヘンリー 師
惠信尼・覚信尼追悼会 十月一日 (日) 午前十時
御講師 宮地 美子 師
祥月永代経法要 十月八日 (日) 午後一時
南加教区仏教徒大会 【於 パサデナ仏教会、又はZoom】 十月十四日 (土) 午前九時
日曜礼拝 毎週日曜日 午前十時
別院お休み(Labor Day) 九月四日

マウイ島大火災 八月中旬に発生したマウイ島の山火事は、ライハイナ本願寺や歴史あるライハイナの町を完全に破壊し、甚大な被害をもたらしました。本派本願寺ハワイ教団では、皆様からの支援金を受け付けております。米国仏教団でも窓口が設置されています。 [義援金の受け付け] • BCA Endowment Foundation 小切手受け付け可。郵送先は BCA Endowment Foundation宛て (メモ欄に MAUI RELIEF とご記入ください) に下記まで送付 BCA Endowment Foundation - 2140 Durant Avenue, Berkeley, CA 94704 • 本派本願寺ハワイ教団 インターネットで受け付け。教団のHP、もしくはGofundmeまで (https://gofund.me/ff77a520)

【この話ご存知でしたか】

増山 栄子 翻訳・伊藤 千鶴子

思い出に残る日本

5月1日BWAのアメリカーンホリデイズジャパンの数日前に大阪の関西空港に到着し、書類はほとんど必要なしの入国審査と税関を通過した人。京都行きのリムジンが到着するまであと2時間ほどの予定。到着エリアでは、なんと、中垣まさゆき開教使と彼の母親、中垣さちこ夫人に出会いびっくりしました。父親の故中垣昌美開教使と夫人は、1950年代と1960年代にロサンゼルス別院では非常に活発で目立つ存在でした。1970年代に別院を手伝っていたまさゆき開教使は、夕方なら京都まで車で送ってくださると親切に申し出て下さいました。リムジン会社との連絡は不可能でした。その代わりにリムジンを待つ間の素敵な時間が訪れました。これまでになかった精力的な先生、故中垣昌美開教使を懐かしく思い出しました。

5月2日リリーガロイホテル京都のロビーで、現在京都の大学のアマミチヒロ教授とともご夫妻に会いました。私がアマ先生に初めて会ったのはロサンゼルスで彼がカリフォルニア大学アーバインでタンカンウィリアムズ開教使/博士の指導のもと博士課程の勉強をしていた時でした。学位取得後、彼はアラスカ大学、次にモンタナ大学に進みました。私が日本旅行に出発する前に彼から京都にいと聞いたのは嬉しい驚きでした。彼と夫人はとても親切で、旅行の前後の活動の計画に協力してくれました。はるのともごさんは、当別院とBWAで特に西の時報と100周年記念誌、BWA創立50周年記念誌の出版(レイアウトデザイン、日本語セクション)で活躍しました。ともごさんは沖田守子の妹でもあります！

5月3日最も重要な価値があったのは、京都国立博物館で開催された「100周年記念特別展「親鸞聖人の生涯と真宗の開祖の文化伝統遺産」のチケットをアマ先生が入手してくれたことでした。親鸞聖人、また親鸞聖人による多くの著作、絵画、彫刻の原本を見ることのできたのは素晴らしい経験でした。尊い師である親鸞聖人は、私の心の中では常に偉いものでした。一つの思想、一つの理念...でしたが、真の人間となったのです。100年以上前に存在した尊師...中垣まさゆき開教使は大阪での勤務を一日お休みして、私達と一緒に親鸞聖人展を鑑賞し、その後、大阪まで車を運転。道順堀を散策。贅沢なお好み焼きランチをご馳走になりました。満腹すぎて甲子園球場でタイガースの勝利を見ながら、さまざま食べ物や飲み物を試すことは出来ませんでした。マサ先生、素敵な一日をありがとうございました！

5月2日手製のおけさ入れに宮川エイミのおけさを携えて、親鸞聖人御誕生500年祭立教開宗500年祭に参列する準備をしました。引率者のパメラ田端、ジーンかわかみ、そして輪番ウィリアムブリオネスがロビーで私達を出迎え、西本願寺(本山)まで連れて行ってくれました。私達は集合写真を撮り、前方近くの左側にイヤホン(英語の翻訳)をして心地よく座りました。残念ながら、私は巨大な柱の後ろにいたため、中央全体を見ることはできませんでしたが、大きな画面には中央の様子が映っていました。西の技術者である輪番おおいち氏の技術と努力のおかげで、自宅で本山の儀式をZoomで見ることが出来ていたのであまり何かを見逃した様な思いはしませんでした。

5月2日今日は私はエイミーのおけさを持ってきただけでなく、BWAの大会や会議、南部地区、連盟(全国)、世界大会に出席してきた宇野嘉代さんの思い出も一緒にです。私たちは第2回世界仏

教徒婦人会大会が開催される巨大な国立京都国際会館へバスで向かいました。早めに到着したため、講習会の合間に座れる席をロビーで見つけて予約することができました！「宴会席」は5人1組で、「1名の国際会員が中央席に割り当てられました。私は座って、日本各地の女性と贈り物を交換しました。皆が私たちがサイレントオークションで購入した締め具付きの下り藤が付いた紫色のフェイスマスクが大好きでした。翌日、広島からの代表団が私を見つけ、名前と住所を交換し、お寺に戻ったときに葉書(恵信尼と辛夷(こぶし)の花の絵)が私を待っていました。広島県福山市のさかもとみよこさんの手紙は会えて嬉しかったのとハワイで会えるのを楽しみにしている英語で書かれていました。ハイライトは、私の大好きな盆踊りの一つである春駒の群舞(通路の上下)でした。はい、参加しました。そして中原節子とリンドリーながきも参加！

5月2日斜面に何百本もの朱塗りの鳥居が並ぶ京都の伏見稲荷大社を訪れる。数百人の観光客も訪れた！親鸞聖人の生涯の地である誕生院は、より静かで素敵な訪問で、その後には昼食をとりました。昼食後、グループから離れて、新しくなった京都の南座へ歌舞伎を見に行きました。改築後の内装は印象的でした。開幕日は前日でした。演目についての説明は残念ながら日本語のみで、その後願糸縁芋環(ねがいのいとえにしのおだまき)です。あまり興奮はさせられませんが、華麗です！チケットが一枚余分にあったので、ジョイ富田さんが合流してくれました。終演後は雨が降っています！

5月1日5日京都に別れを告げ、高山祭の祭屋台を見に高山へ向かいます。この地域は飛騨牛とさるほほ(赤い顔の)人形、文字通り猿の赤ん坊)のお守り(悪いものから身を守る)で知られています。白川郷では、伝統的な茅葺き屋根の合掌造りの家々を見ることが出来ます。京都郊外の美山で見たものと似ています。宮川朝市と松本とその歴史的な松本城(鳥城)へ。私は外観から見ることを選び、城の下から上に乗る多くの石段を省くことを選びました。藤の蔭の下に座って、ソフトクリームを楽しんだり、遠くから美しい黒いお城を眺めたりするには、心地の良い暖かい晴れた日でした。わさび農園を訪れ、わさびのソフトクリームを楽しみました。

長野上越へ、おしんの里記念館と辛夷(こぶし)(モクレン)の花が見れる墓地。記念館の売店では売り切れ商品も多数ありました。幸いにも会議上でこぶしの花の「シャツ」を購入していました！そして、すっかり変わってしまった草津温泉(名湯)へ。冬には東京方面からスキーに来ていました。1950年代：高級な温泉地が開発される前！旅館に一泊して、素晴らしい日本料理の夕食を食べました！

高校からの友達のハリエットロヴァットクルーン(リッチスチュワート)と再会し、他のマニユアルアーツ高校トイラーだったアーウィンウォン(妻のジュディ)と見つけました。思い出を楽しみました。あしががフラワーパークを見るために足利へ行きます。残念ながら藤の花は終わっていましたが、他にもたくさん花が見られました。暖かい春の日に至る所にある花を楽しみながらソフト

クリームを食べました。アメリカンホリデイズジャパングループに別れを告げる*私達4人：リンドリーながき(2)、ハンナにしもと(WLA)、スーザンおがわ(洗心)と付添人のおださち(洗心)、旅はさらに10日ほど続きました。5月16日100年に亡くなった叔母のお墓参りのため、早朝に従妹と合流。静岡県の富士山麓にある広大な富士メモリアルパーク霊園の合間に富士山が見えて本当に綺麗でした。初めてレストランでらす井(ご飯の上に大量の小さいイワシのトッピング)を食べました。美味しい！

5月2日浅草浅草寺を訪れました。そこでは小さな神輿が出ているお祭りが行われていました。数10人の参加者！両国駅までタクシー。午後5時の相撲ツアーと合流するため、国技館アリーナ(両国相撲ホール)へ。ここ2年ほどは家でNHKテレビの相撲中継を見ていたので、とても楽しみです！

5月2日羽田空港から博多への飛行機の前には築地本願寺に参詣。サンディエゴのラルフとエイビスほんだ夫妻と築地の敷地内ですれ違いました！なんて小さな世界でしょう！

5月2日5月1日夕方に山口へ。元乃隅稲成神社、角島大橋を通過して秋吉台鍾乳洞へ。歩きやすく、明るいです。1950年の前の旅行のことはあまり覚えていません。新幹線が長崎へ向かい、平和記念館を訪問。約50年前に実際にここに原子爆弾が投下されたとは信じがたいです。多くの中学生が見学に訪れています。ジャンボタクシーで白樺へ向かい、白樺湯の里で石仏を鑑賞し、その後多くの観光客と美しい高千穂峡へ、夕方には天岩戸神社で神楽舞を鑑賞し、宿泊は個人の別荘！地元の電車に乗って短時間で到着し、湯けむりの阿蘇山へ向かいます。熊本へ向かい、ともごさん(京都)の友人のはまじらんごさん主催の夕食を友人3人と一緒に。美味しい食事ワイン言葉の難しさにもかかわらず、活発な会話がたくさんあったとても楽しい夜でした。熊本城まで歩き見学。数年前の大地震後、現在は復元修復中です。幸いなことに臨時エレベーターがあるのでそれを利用して、城の全階層を見ることができました。新幹線で広島まで約1時間！田舎にある母の実家の墓地へケ所を訪れることが出来ました。祖母の妹の墓地は市内です。涼しくて霧雨の日でしたが、快適でした。又従姉妹の叔父が親切に案内してくれ、その奥さんが母のバラを思い出させるとも素敵な田舎料理を出してくれました！対照的に、別の又従姉妹が夕食に私を迎えに来て、丘にある美しい高級レストランに連れて行ってくれました。少し霧がかかっていたものの素晴らしい眼下の景色と、贅沢な美味しい食べ物：もったいないけど！広島平和記念公園を再び訪れました。：：：回目でしょうか？ドーム型の建物が今も残っていると、知っている人知らなかった人、亡くなった人すべてを思い出して、いつもとても悲しくなります。広島お好み焼きティナーをいただきました！美味しい！！古い道後温泉を見るために松山(四国)へのフェリーに乗りました。高野山遍路の一つ(8ヶ箇所の第2番目の番札所)の石手寺を訪れました。新旧の建物が融合した国際的な大規模複合施設です。



①



②



③



④

写真 ①輪番ブリオネスと鳥見浩憲奈良西光寺住職 - WBW会議京都 ②アマミチヒロ教授とともご夫人 - リーガロイホテル京都 ③柿原興乗住職広島永照寺子供と一緒に。さとね(11才)しゅじょう(8才)④柿原興乗まさよご夫妻子供達、タコマ代表パティウォング(中央) - WBW会議京都

(一面続き)さらに、私たちはこの布施行を自らの生活の中で実践し続けた方々を知っています。それがこの別院の礎を築いた一世や二世の方々です。彼らの「布施」の精神が、決して豊かではない時代においてこれだけの規模の寺院建立を実現させたのです。

一世の血と汗のじむような努力のおかげで、この別院は百十八年前にこのロサンゼルスで産声をあげました。その後先見の明をもつ二世の尽力により、一九六五年に現在地に移動します。ご門徒や有縁の方々のご懇志のおかげで一九六九年に新しい別院されました。

さらに時を経て別院創立百周年の際には再び多くの方が記念事業に賛同しご支援してくださいました。おかげさまをもちまして

「法味楽」味わう×楽しむⅡ仏教



駐在開教使
村上 馨

全集中

秋のお彼岸の季節になりました。時節を定めて涅槃に想いを馳せるお彼岸という行事は、春と秋で二回ありますが、あつという間に秋になりましたね。今年もCOVIDの影響が影を潜めるようになってきました。夏は子供たちのキャンプ行事に忙しかってしまいました。そこで「集中」という単語を何度口にしたかわかりません。それは決して子供たちの聞き分けが悪かったわけではなく、ほとんどの子たちはちゃんと私の話を聞いてくれていました。むしろ「集中、集中」と頻りに口にしていました。自分自身に言い聞かせていたようなそんな気がします。そうでもないかと、先のことから取られてしまつて、目の前の時間を大切にできる自信がなかったからです。

その点においては、大人よりも子供の方が目の前で起こっていることを敏感に感じ取ります。素直に反省をするところから、しかし、注意が散漫にならないようにすることについては、年齢を問わずに訓練が必要になります。例えば、人の話を聞いていた時にどこかで大きな音が鳴るとそっちの方に注意が削がれてしまします。あまりに大きな音を無視してまで何かに没頭するのは身に危険が及ぶのでよくないですが、車の運転中に携帯電話やお友達の話に気が取られるのはもっと危険であることは明らかです。スマートフォンやインターネットの普及で生活の利便性は向上し、いつでも誰かがあなたの注意を引くことができます。しかし、これは諸刃の剣みたいなもので、本来意識を集中しなければいけないことをあなたが疎かにする言い訳が与えられているに過ぎません。恋人や家族と過ごす

納骨堂とウエステリア堂の新築に至りましたことはご存知の通りです。

別院が現在の場所に建立されてから五十年の月日が流れ、内陣の修復や別院施設の修理改善が必要な時期を迎えました。ありがたいことに今やお寺の中心となつてきた世代が両親や祖父母の精神を受け継ぎ、別院を物心両面で支えてくださいました。

別院がようやく平常を取り戻しつつある今、別院が賜つてきたご恩を思い感謝の念に堪えられません。この感謝の気持ちは私たちの生活において実に大切なものです。なぜなら感謝の気持ちはもつことを通して私たちは周りの人々との親密な絆を再確認できるからです。ご恩報謝の生活とは賜つているいのちの尊さに目覚め、

時間、友達と出掛けているときに、あなたがスマートフォンばかりを見ていると、相手はどんな気持ちになるでしょうか。「遠くの友達が久しぶりにメッセージをくれたんだ」と言えば、「じゃあ、わたしは？」となるでしょう。やっぱ、そう思うと目の前のことにきちんと注意を払うのは仏教の基本なのかもしれません。

最近読んだ脳科学の記事で、人間の脳は同時に物事を処理することとはできないようになっており、一個一個タスクを処理していくものと書かれておりました。スピードや効率性が重視される時代になってから、物事を同時並行で処理することのできる人間がもてはやされるようになりましたが、先の記事はこれを否定し、物事を同時に処理することのできる人は居ないということになります。おそらく多くのことを短い時間でこなせる人は、そこに至るまでにそれなりの努力と隠れてたくさん時間をそこに費やしているはずで

す。親鸞聖人の「己が分を思量せよ」という言葉が脳裏に浮かびます。ローマが一日にして成らないように、一瞬で成果がでる魔法はありませぬ。ある野球選手の言葉ですが、やみくもな努力は決して実らない。正しい努力をきちんと払った人だけが成功を手に入れることができる、とあります。

集中とはただただ自分に誠実であるかだと思ひます。それは聞くべきだと分かっている事を言い訳なしに自分の全神経をその物事に注ぐことができるかという挑戦です。あなたの注意を引く誘惑は世の中にたくさんあります。でも、その中から本当に必要なものだけを嗅ぎ分けるセンスを身に付ける必要があります。しかしこれどこに転がっているかはわかりません。たわいもない雑談の中にあるかもしれないし、無邪気に遊ぶ子供たちから学べることもあるでしょう。とどのつまりは、あなたが全神経を使って耳を傾ける価値のある宝物はそこら中にたくさんあるということです。反対に、中途半端に肩入れをして、分かつたつもりにならないようにするための戒めでもあります。集中とは、自分の心を外に向けて開き、外部から飛び込んでくるものを拒むことなく、積極的に自分の中に取り込んでいくことだと思ひます。

これを真宗に寄せて言えば、わたしが背負っている業の深さに目を背けることなく向かってきてくれる阿弥陀様のはたらきかけに我々は注意を払っているのか、ということだと思います。自分の業の深さとはどれほどのものなのでしょう。せひとも、このことについて少しでも時間をおいて考えて頂けたら、この記事を読んだ価値が出てくるでしょう。

生活全体を通してその感謝の気持ちを表現していくということではないでしょうか。

ダーナとは私たちの精神生活の頭領です。寄付や奉仕を通してこの行を実践していく時、私たちは人生において本当に大切なこととは何か、ということに気づくことができるのではないのでしょうか。そして真の幸福は無私の行いから生み出されるということが発見するのです。ご懇志を寄せてくださる皆さま、またお時間を割いてお寺にご奉仕して下さる皆さまには衷心より感謝申し上げます。皆さまの「気もち・ダーナ」はお寺の建物を維持するだけでなく、お念仏の教えに出会いたいと願う人々に、その出遇いの場を開いてくださっていることを強く感じます。南無阿彌陀仏

聴いて、聴いて、ABAソニックのリズムを!

2023年6月3日、西ABAは別院西駐車場にて募金コンサートを開催した。家族や友人たちがABAソニック・バンドによる音楽コンサートを楽しんだ。おなじみの曲を彷彿とさせる、ゴールデン・オールデイーズ、が演奏され、聴衆はこの素晴らしいメロディーに合わせて踊らずにはいられなかった。

来場の方々にはたくさんのお品が用意され、ラッフルの抽選会も行われた。このイベントの収益の一部は、西別院で必要とされている事務機器の購入費用に充てられる。



ABA Sonic Concert
June 3, 2023



月(ベースギター) ジェラルド・ファラ
司会者はデレク・エスカノ、サウンド・ディレクターはジェームス・ナカムラだ。楽しい夜をありがとう!

赤、白、青、万歳!

西ABAは、ベニスやガデーナに住む家族や友人たちと共に、ロサンゼルスで伝統行事のひとつであるハリウッド・ポールを楽しんだ。「月3日、ザ・ビーチ・ボーイズがハリウッド・ポール・オーケストラと共に夜を彩った。トーマス・ウィルキンスの指揮と伝説的な花火が完売した観客を楽しませた。

ザ・ビーチ・ボーイズは、半世紀以上にわたって音楽を作り続けている。それについてなお、アメリカ音楽史上、比類なき波の頂点に立ち続けている。かつては、ビーチ・ボーイズはカリフォルニアのライフスタイルの代名詞であり、世界中のファンにとってアメリカ文化の象徴的存在であった。リード・シンガーのマイク・ラブに迎え、夜のプログラムをリードした。彼らの代表曲である、Surfer Girl、Fun Fun Fun、I Get Around、California Girl、Good Vibrations、Rhonda、Barbara Ann、Wouldn't It Be Nice、Rock and Roll Music、Kokomoが演奏される。観客は盛り上がった。最後は、華やかな花火がこの夜を締めくくった。オーケストラとシンクロした愛国歌の演奏は、最も印象的で感動的であった。

今回の遠征は、ロニー・クオンの尽力によって実現した。彼の継続的なサポートと寛大さに、感謝している。ロニーさん、ありがとう!

